

平成19年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 教科に関する結果

(1) 全体の結果

- 「知識」に関する問題については、相当数の小中学生が今回出題した学習内容を理解しているが、「活用」に関する問題については、「知識」に関する問題に比べて正答率が低く、山口県学力調査の結果と同じ傾向がみられた。

平均正答率による比較

		「知識」に関する問題		「活用」に関する問題	
		山口県	全 国	山口県	全 国
小学校	国語	80.6%	81.7%	60.0%	62.0%
	算数	80.5%	82.1%	62.1%	63.6%
中学校	国語	82.7%	81.6%	73.0%	72.0%
	数学	73.3%	71.9%	62.4%	60.6%

- 山口県の平均正答数を全国と比べると、中学校では上回り、小学校では下回っているが、大きな差はみられなかった。

	総問題数 (問)	平均正答数 (問)		
		山口県	全 国	全国との比較
小学校	61	44.5	45.4	-0.9
中学校	100	74.9	73.6	+1.3

(2) 教科ごとの結果

		相当数の児童生徒が理解している	課題がみられる
小学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み 接続語の使い方 指示語が示す内容を読み取る 	<ul style="list-style-type: none"> 内容を要約する 資料を関連付けて読み取る
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 整数、小数、分数の基礎的な計算 三角形等の面積を求める 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を筋道を立てて解決する
中学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を正確にとらえる 敬語を適切に使う 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な事柄や自分の考えを明らかにして書く
	数学	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算 一元一次方程式を解く 	<ul style="list-style-type: none"> 式の意味を説明する 関数を使って問題を解く

(3) 質問紙調査との関連

ア 平日30分から1時間読書をしている児童の正答率が高い傾向がみられた。

* 質問 家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。

選択肢		児童数	割合	平均正答率(%)			
				国語A(18問)	国語B(10問)	算数A(19問)	算数B(14問)
1	2時間以上	697	5.4	81.1	64.0	79.0	62.1
2	1時間以上、2時間より少ない	1,396	10.8	82.2	64.0	81.1	62.9
3	30分以上、1時間より少ない	2,654	20.6	83.3	64.0	83.2	65.0
4	10分以上、30分より少ない	3,190	24.7	82.8	63.0	83.2	64.3
5	10分より少ない	2,164	16.8	78.9	56.0	78.4	59.3
6	全くしない	2,780	21.6	77.2	53.0	77.9	57.9

イ 国語の授業で、学習内容と関連した資料を読んだり、自分の考えを話したり書いたりする機会が多い児童は、そうでない児童に比べ正答率が高い傾向がみられた。

* 質問 国語の授業で資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。

選択肢		児童数	割合	平均正答率(%)			
				国語A(18問)	国語B(10問)	算数A(19問)	算数B(14問)
1	している	2,163	16.8	84.4	68.0	84.2	67.1
2	どちらかといえば、している	5,441	42.2	82.2	63.0	82.1	63.6
3	どちらかといえば、していない	4,368	33.9	79.4	56.0	79.0	60.0
4	していない	908	7.0	71.7	43.0	71.1	50.0

ウ 全ての教科において、その教科の学習が大切だと思う児童、及び学習したことが将来役立つと思う児童は、そう思わない児童に比べ、正答率が高い傾向がみられる。

* 質問 算数の勉強は大切だと思いますか

選択肢		児童数	割合	平均正答率(%)			
				国語A(18問)	国語B(10問)	算数A(19問)	算数B(14問)
1	当てはまる	9,190	71.3	81.7	62.0	82.6	64.3
2	どちらかといえば、当てはまる	2,709	21.0	80.0	58.0	77.9	59.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	709	5.5	75.6	49.0	71.1	50.7
4	当てはまらない	273	2.1	71.1	40.0	63.7	43.6

2 学習習慣や生活習慣に関する結果

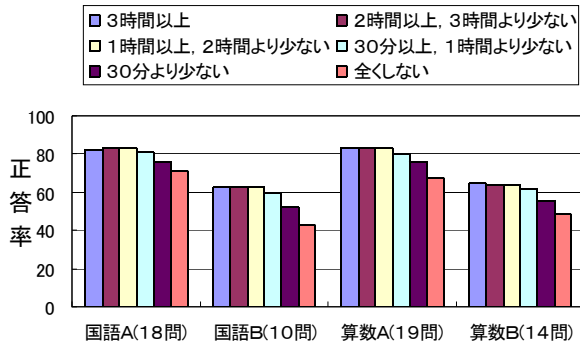
朝食を毎日食べること、早く起きること、外で体を動かすことについては、全国の場合と比べて、望ましい生活習慣が身に付いているが、学校の授業時間以外での学習時間については、全国の場合と比べて少ない傾向にある。

(1) 学校の授業時間以外での学習時間について

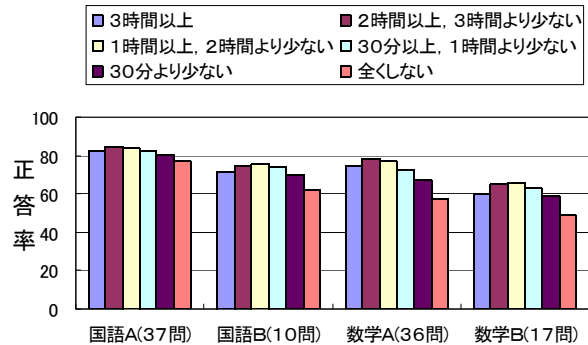
ア どの教科においても「学校での授業時間以外での学習時間」が30分より少ない子どもの正答率は低くなっている。

* 質問 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

【小学校】

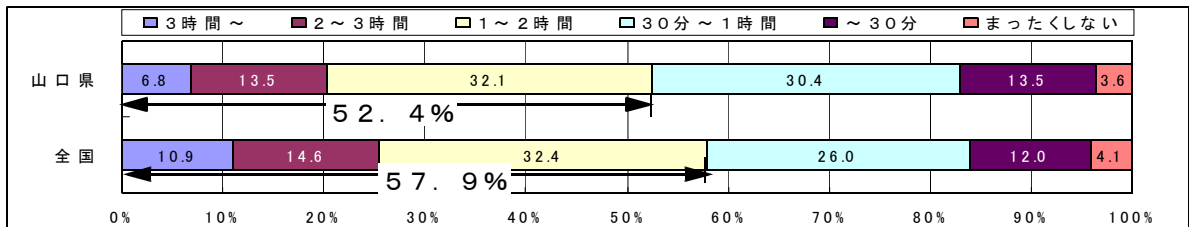


【中学校】

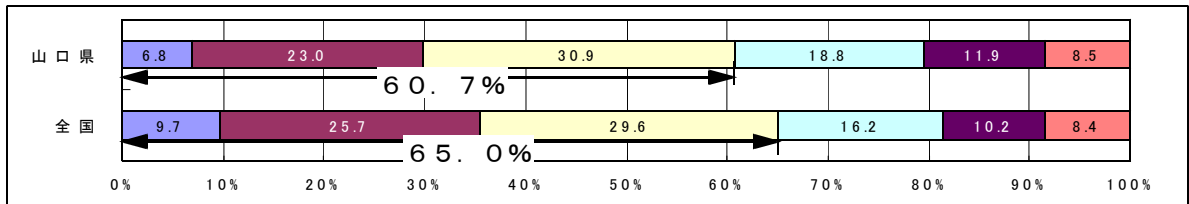


イ 「学校での授業時間以外での学習時間」が1時間以上ある子どもは、全国に比べると、小学校で5.5%、中学校で4.3%少ない。

【小学校】



【中学校】

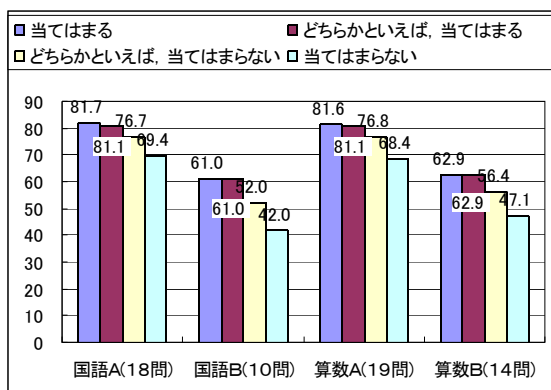


(2) 基本的生活習慣・規範意識等

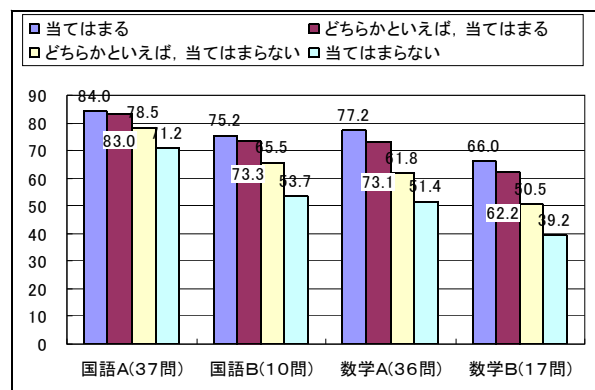
ア 学校のきまりを守ったり、近所の人にあいさつをしたりする子どもは正答率が高い。

* 質問 学校のきまりを守っていますか。

【小学校】



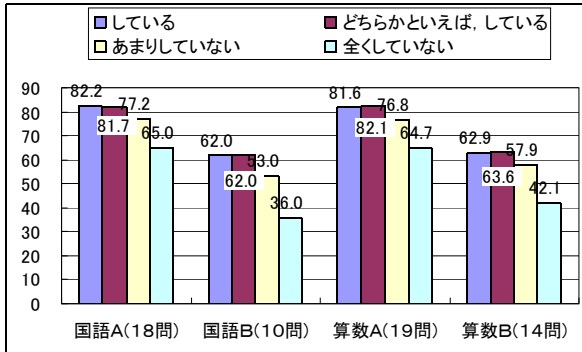
【中学校】



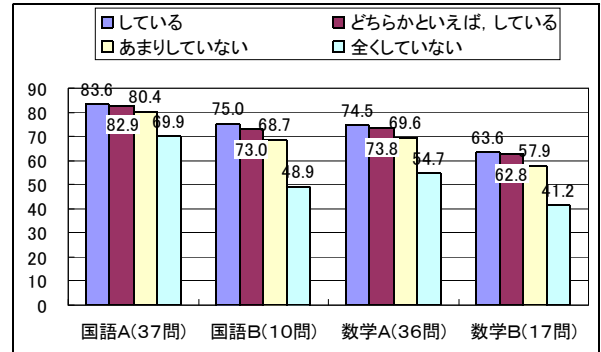
イ 「身の回りのことを自分でしている」「どちらかというとしている」と答えた子どもは、正答率が高い。

* 質問 身の回りのことは、できるだけ自分でしている。

【小学校】



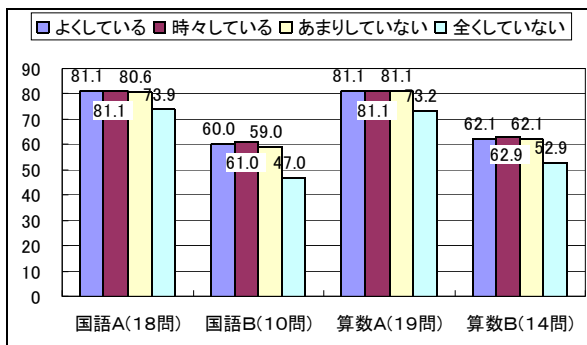
【中学校】



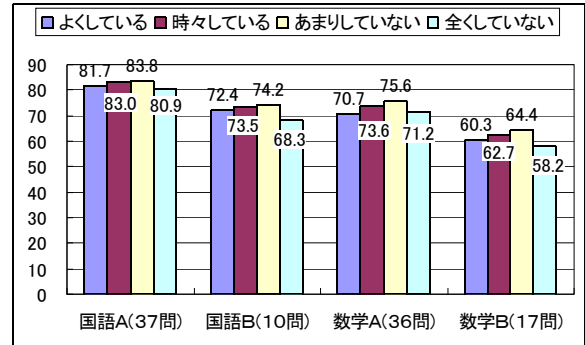
ウ 「家で手伝いを全くしていない」と答えた子どもは、それ以外の子どもに比べると、すべての問題で正答率が最も低く、小学校国語の「活用」の問題で10ポイント以上の差がみられた。

* 質問 家の手伝いをしていますか。

【小学校】



【中学校】

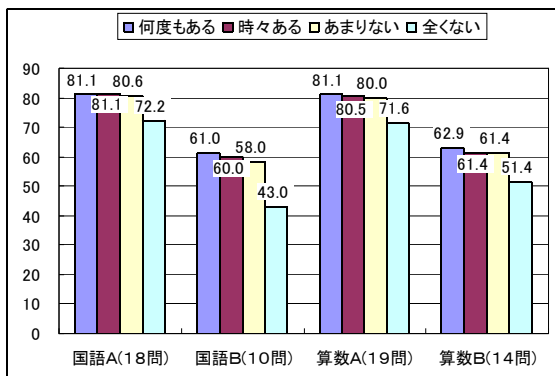


(3) 体験活動

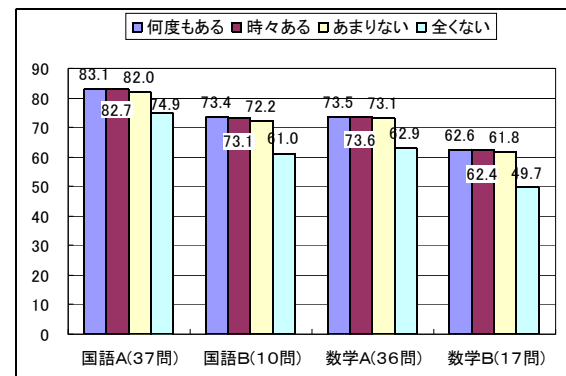
野外での体験活動が「全くない」と回答した子どもは、正答率が低くなっている。特に「活用」の問題では、それ以外の子どもと比べると、正答率が10ポイント以上差がみられる。

* 質問 海、山、湖、川などで遊んだことがありますか。

【小学校】



【中学校】

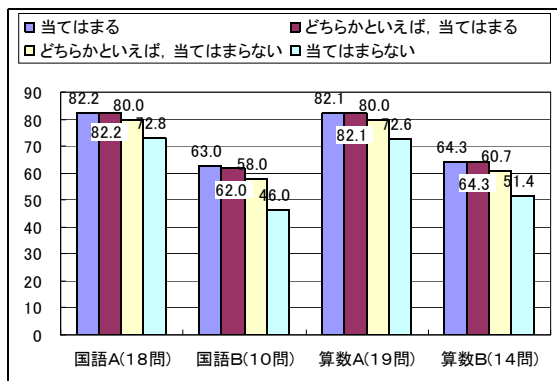


(4) その他

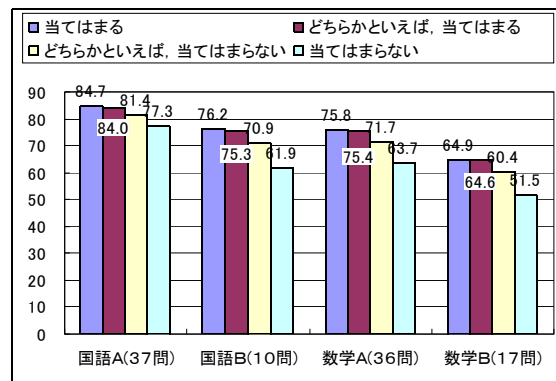
世の中の出来事等に関心が高い子どもは正答率が高くなっている。特に、小学校国語の「活用」の問題では、当てはまらないと答えた児童の正答率と、それ以外の児童と比べると、10ポイント以上の差がみられる。

* 質問 世の中のいろいろな出来事に関心がありますか。

【小学校】



【中学校】



3 学校全体の取組における山口県の状況

小学校では、キャリア教育等の意識が高く、中学校3年では、学校図書館を活用した授業の割合が低い。

【小学校】

質問		はい	いいえ
職場見学や職場体験活動を行っていますか。	山口	46.2 %	53.9 %
	全国	32.6 %	67.2 %

【中学校】

質問		はい	いいえ
第3学年の生徒に対して、学校図書館を活用した授業を行っていますか。	山口	27.8 %	72.2 %
	全国	38.3 %	61.3 %

4 今後の対応

各学校については、調査結果の分析を行い、児童生徒の実態を踏まえた「学力向上プランの見直しを行う。県教委及び市町教委においては、調査結果の分析を進めるとともに、調査結果の活用等について各学校を支援する。

なお、県教委では、これまでの分析を「中間報告」としてまとめ、今月中に各学校、市町教委に配付する予定である。